



令和4年度

学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ～学ぶ喜びにあふれた学校をめざして～

令和4年10月28日

横浜市立高田小学校

11月号

ご協力に感謝

副校長 宮野 雅樹

暑かった時期もいつの間にか過ぎ去り、季節は着実に冬に向かっていくことが日々の朝夕の冷え込み具合から分かるようになりました。

10月22日(土)には、天候にも恵まれ、予定どおり運動会を実施することができました。今年度は2部制として3学年ずつの前後半で行いました。まだ全学年一斉とはいかないものの、代表リレーや団体競技を実施しました。応援団の復活もあり、前後半ともにとっても活気のある運動会となりました。学年での演技においても、準備段階から子どもたちの気持ちは、本番が近づくにつれて高揚していることが日々の様子から伝わってきました。直前の練習では、他学年の演技の練習を見学し合う姿が見られました。高学年は低学年のかわいい動きを、低学年は高学年の迫力ある力強い動きを見て声をあげて感心している様子もありました。この2年間他学年との交流がほとんどできなくなりましたが、他学年の姿から学ぶことはたくさんあります。当日のプログラムでは、前半の間は、後半の学年が、後半の間は前半の学年が、各教室でリアルタイムに配信される映像を見て応援をしました。全校一斉開催に戻ることが理想なので、この形式が今後のスタンダードになるとは思いませんが、他学年の子どもたちが懸命に競技、演技している姿を共有できたことは、一人ひとりの心の中に、感動や興奮、悔しさや歓喜などの感情とともに映像として記憶に残ることと思います。保護者の方々には参観の制限をし、地域の方々には参観できないなど、条件を設定せざるを得ないことになりました。ご理解、ご協力をいただいたことに感謝いたします。

保護者の方のご協力をいただいた取組にもう一つ、5年生が総合的な学習の時間で取り組んでいるSDGsに関連した「子ども服の回収」(ユニクロ社による“届けよう服のチカラ”プロジェクト)がありました。ユニクロ社の出前授業を受けて、服の生かし方を学んだあと、子どもたちが全校に呼びかけ、世界で服を必要としている人々へ寄付するための服を学校で集めました。回収の初日が10月19日(水)でしたが、その日だけで段ボール箱5つにあふれんばかりの服が集まりました。その後もたくさん集まり、多くのご家庭からご協力をいただいたことが分かります。子どもたちには、着なくなった服を持ってきて終わりではなく、自分たちが提供した服が届く先の世界の国々について関心をもち、今自分たちが生活している環境との違いや現状について調べたり、考えをもったりすることを期待します。

コロナウイルス感染拡大がさらに落ち着いてくることで、子どもたちの学びの充実を図った活動の幅を広げられると思います。今後もご支援・ご協力をお願いいたします。

